

# 放課後等デイサービスきらきら 自己評価表

評価実施日 令和6年3月12日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			子どもたちが活動しやすいスペースを確保している。
	②	職員の配置は適切であるか	○			配置基準に基づき、適切な職員配置がなされている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	事業所が二階にあり、手すりはあるが、エレベータ等の設置がされていない。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的に会議を開催し、業務上の課題の抽出及び改善を図っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回、保護者向けアンケートを実施し、意向等を確認しながら業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者委員会の設置をしており、運営に関する助言等を受けている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職種や個々のキャリアに応じ、施設内外の研修を行い、職員のスキルアップを図っている。
適切な 支援 の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントシートを活用し、支援に対する課題や保護者からの意向を確認した上で、個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一したアセスメントシートを作成している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月一回、職員会議の中でアイデアを出し合い、活動プログラムを作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			運動・音楽・工作等、個々の障害特性に応じながら、幅広い活動に取り組んでいる。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇や休日の支援では、調理実習など、平日では困難な活動・体験等を計画的に実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別・集団活動の時間を明確に分けて支援している。個別に配慮すべき点については個別支援計画等に記載している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前にミーティングを行っており、情報共有の場としている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、個別支援記録を作成。その際必ず職員間で支援の振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をすることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援記録を記入。シートに個別支援目標や効果を記載できるよう工夫している。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			適切な時期に応じて、見直し、または計画変更を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			基本的日常生活自立支援動作や自立生活の支援に基づいて、個別支援計画を作成し支援している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議・相談等には児発管及び管理者が出席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			下校時間の確認・調整及び、学校行事の連絡等や子供の様子については内容に応じFAX、電話等、又は口頭によって行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		これまで医療的ケアを必要とする児童の受け入れがない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			当該市町村や療育センター・相談支援事業所より情報提供または必要に応じて依頼し、相互理解に努めている。

	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			関係機関からの求めに応じて、書面や口頭にて情報提供している。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			専門機関との連携は取れており、必要に応じて助言等を受けている。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○	機会が十分に設けられていない。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	感染予防対策としてZOOMではあったが、開催ごとに参加はできている。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			子どもの発達や課題については個別支援計画やモニタリングで、日々の様子については連絡ノート用い共通理解を図っている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○			相談に対して個別に面談を行い保護者に対して助言等行っているが、定期的な機会は設けられていない。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			事務所内に運営規定を掲示。支援内容、利用者負担については書面を用いて説明している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時、保護者が抱える悩みを受け付け、助言や支援を行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者が加入できる組織があり、1年に3回ほど活動の機会はあるものの、加入者があまりおらず、活発な活動には至っていない。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決委員会を設置しており、苦情発生時、迅速に対応できるよう心掛けている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月1回、通信を発行している。行事予定、連絡体制等については書類を作成し、都度お知らせしている。

	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報保護にかかる同意書を取り、情報の漏洩防止に努めている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳の活用、個別支援計画書及びモニタリング等によって支援に対する意思疎通を図っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民と交流を図る機会が十分に設けられていない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	各種マニュアルを作成。ただ保護者への説明については不十分である。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回、避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待に関する外部研修を受講し、職員全体での内部研修を行っている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	身体拘束を必要とする児童がいない。身体拘束に関するマニュアルや書式については整備している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	対象児童がいない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			月単位でヒヤリハット報告書をまとめ、会議にて情報共有している。